

プランクトン調査結果のお知らせ

平成25年7月5日午前9時から野見湾の調査を実施しましたので、結果をお知らせします。
 魚類に対して非常に有害なカレニア・ミキモトイが最高1,220cells/ml確認され、被害が想定される密度に達していました。餌止めを行う等、慎重な養殖管理をお願いします。また、魚類に対して非常に有害なシャットネラ属が1cell/ml確認されました。今後の動向に注意が必要です。
 海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

【注 意 点】

- プランクトンは鉛直運動するため、午前中潮色が良くても、午後から着色する危険性があります。
- プランクトンは潮流や風の影響で移動する危険性があります。

地点	水深	有害プラントン (cell/ml)			
		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	ディクチオカ・フィビュラ	ケラチウム・フルカ
湾奥ブイ	0m	2	0	0	0
	2m	13	0	0	0
	5m	1,040	1	5	1
大室戸	0m	123	1	0	0
	2m	1,220	0	0	0
	5m	32	0	0	2
馬の背	0m	920	0	2	0
	2m	720	0	0	0
	5m	84	1	3	2
勢井	0m	94	0	0	0
	2m	650	0	2	0
	5m	25	0	1	0
ガラク	0m	11	0	0	0
	2m	87	0	1	0
	5m	24	0	2	0
白浜	0m	840	0	0	0
	2m	480	0	0	0
	5m	0	0	1	0



漁業被害が想定される細胞密度

- カレニア・ミキモトイ:
数百～数千cells/ml(へい死)
- シャットネラ属:
10～100cells/ml(へい死)
- ディクチオカ・フィビュラ:
赤潮発生時(へい死)
- ケラチウム・フルカ:
100cells/ml(餌食いの悪化)